

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
11095	2	後期	必修	1	30
授業科目名 (英文)	在宅看護援助論 I (健康生活援助論) (Health Promotion of Home Care Nursing I)				
担当教員名	○大金ひろみ / 蓮井貴子 / 篠木絵理 / 廣島麻揚 / 高山裕子				
授業の概要及び到達目標					
<p>概要 在宅看護の基本的考え方、健康上の課題を抱えて在宅で生活する小児から高齢者とその家族の特徴を知るとともに、看護方法の特徴、生活を支援する社会システム、法制度について学ぶ。</p> <p>到達目標 ①健康上の課題を抱えて在宅で生活する人々とその家族の特徴について説明できる。 ②健康上の課題を抱える人々の在宅での生活維持に関わる医療・福祉の制度や社会資源について説明できる。 ③発達課題や健康課題の特性に応じて、生活の場で提供される在宅看護の特徴、訪問看護師の役割について説明できる。</p>					
準備学習等					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 疾病治療論、小児看護援助論 I、慢性期看護援助論、老年看護援助論 I、生涯発達ケア論、公衆衛生看護援助論 I 等の科目から各回に関連した学習内容を復習しておくこと。 ・ 第 2 回、第 5 回、第 9 回、第 14 回で事前課題を出すので、必ず授業に出席すること。 ・ 予習・復習に要する時間：15 時間 					
成績評価の方法	中間及び定期試験 80%、課題レポート 20% で評価する。				
テキスト	指定なし				
参考図書	「プリンシプル在宅看護学」(原礼子、医歯薬出版) ※ 「新版 在宅看護論」(木下由美子、医歯薬出版) ※ 「在宅看護論 地域療養を支えるケア」(臺有桂他、メディカ出版) ※ 「在宅看護論 第 5 版」(河原加代子、医学書院) ※ 「在宅看護論 自分らしい生活の継続をめざして」(石垣和子他、南江堂) ※ 「高齢者の健康と障害」(堀内ふき他、メディカ出版) ※ 「国民衛生の動向」(財団法人厚生統計協会) ※ 「国民の福祉と介護の動向」(財団法人厚生統計協会) ※				
備考	①本科目の単位取得は、老年・在宅看護学実習の履修前提条件である。 ②出席に関して、20 分以上の遅刻は欠席とみなす。 ③卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。 ④レポート課題について、授業内及び返却時のコメントを確認し、復習した上で試験に臨んでください。 ⑤各教員のオフィスアワーについては、履修案内を参照してください。				

授 業 計 画

- 第1回 在宅看護援助論のガイダンス、地域包括ケアシステムにおける在宅看護の役割・機能【講義】(大金/蓮井)
- 第2回 在宅看護におけるケアマネジメント【講義】(大金/蓮井)
- 第3回 在宅看護の基本理念、対象特性、看護方法の特徴1【講義・演習】(大金/蓮井)
- 第4回 在宅看護の基本理念、対象特性、看護方法の特徴2【講義・演習】(大金/蓮井)
- 第5回 在宅でのチームケアにおける多職種・諸機関との連携・協働【講義】(蓮井/大金)
- 第6回 在宅で療養生活をしている高齢者と家族への看護1【講義・演習】(大金/蓮井)
- 第7回 在宅で療養生活をしている高齢者と家族への看護2【講義・演習】(大金/蓮井)
- 第8回 中間試験(大金/蓮井)
- 第9回 在宅における老々介護の家族・独居高齢者への看護【講義】(大金/蓮井)
- 第10回 在宅で療養生活をしている成人(難病)と家族への看護1【講義・演習】(蓮井/大金)
- 第11回 在宅で療養生活をしている成人(難病)と家族への看護2【講義・演習】(蓮井/大金)
- 第12回 在宅で療養生活をしている精神障害を持つ人と家族への看護【講義】(廣島)
- 第13回 在宅で療養生活をしている小児と家族への看護【講義】(篠木/高山)
- 第14回 在宅看護における倫理的課題・リスクマネジメント【講義】(蓮井/大金)
- 第15回 在宅看護における観察とアセスメント【講義・演習】(大金/蓮井)